

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	相談援助の基盤と専門職B（Professional basis of social work practice B）		
ナンバリングコード	E20923	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 社会福祉
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 後期
必修・選択区分	選択：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E042151	クラス名	2021以降学生用
担当教員名	古野 愛子		
履修上の注意、 履修条件	社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な科目です。 聴くこと、見ること、調べること、そして、真剣に考え取り組むことを心がけてください。		
教科書	社会福祉士養成講座編集委員会編 新・社会福祉士養成講座6 『相談援助の基盤と専門職』 中央法規出版		
参考文献及び指定図書			
関連科目	社会福祉原論、高齢者福祉論、障害者福祉論、児童福祉論、公的扶助論、地域福祉論、社会保障論など		

○基本情報		
授業の目的	「社会福祉士養成施設及び介護福祉士養成施設の設置及び運営に係る指針について」により、社会福祉士国家試験受験資格を得るために、以下の内容を理解することが求められています。 ①相談援助の理念について理解する。 ②相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する。 ③相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について理解する。 ④総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する。	
授業の概要	相談援助の理念、権利擁護の意義と範囲、専門職の概念と範囲及び専門職倫理、総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解を深めていきます。 また、地域社会における実情等を踏まえ、考察を深めていきます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	地域社会における課題・ニーズに対し、関心持つとともに地域での生活者の一人として意識することができる。		10点	
【知識・理解】	①相談援助の理念②相談援助における権利擁護の意義と範囲③相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理④総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解している。	60点		
【技能・表現・コミュニケーション】	社会福祉分野における現状と課題等について説明することができる。		15点	
【思考・判断・創造】	社会福祉分野における現状と課題等について考察することができる。		15点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
リアクションペーパー等の提出状況(学修に取り組む姿勢・意欲)及び内容(専門知識の活用等) [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 課題のフィードバックについて、希望者は次回以降にリアクションペーパー等の講評・解説を行います。	

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	相談援助の基盤と専門職B (Professional basis of social work) 古野 愛子	授業コード	E042151
学修内容				
1. 社会福祉ニーズ 社会福祉分野におけるニーズについて、全体を通してミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開やジェネラリストアプローチの視点をもって支援にあたっている 具体的事例を通して、理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	社会福祉分野におけるニーズの具体的な例について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
2. 相談援助の理念1-① ソーシャルワーク専門職における「価値」について理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	自分がどのような価値観をもっているのかについて事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
3. 相談援助の理念1-② ソーシャルワーク専門職として身につける価値として、日本社会福祉士会の倫理綱領等を踏まえながら、理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	日本社会福祉士会における倫理綱領の内容について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
4. 相談援助の理念1-③: 相談援助における権利擁護の意義と範囲 ソーシャルワーク実践における権利擁護について、歴史的背景や日本国憲法を踏まえながら理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	日本国憲法においてどのような権利が保障されているのかについて事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
5. 相談援助の理念1-④: 相談援助における権利擁護の意義と範囲 現代社会における権利擁護の意義、権利擁護を行うシステム、実践としての権利擁護について理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	社会福祉分野における権利擁護の具体的な例について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
6. 相談援助の理念2-① 自己決定概念の成り立ちについて、歴史的背景を踏まえながら理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	自立における自己決定、自己選択、自己責任の構成について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
7. 相談援助の理念2-② 自己決定と判断能力の関係性および権利について、自立支援の観点から考察を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	自己責任を負える環境として、どの範囲までを対象とすべきなのかについて事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
8. ノーマライゼーションとソーシャルインクルージョン 地域生活支援について、ノーマライゼーションの理念等とソーシャルインクルージョンの視点から理解を深めていきます。 ※レポートの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	ノーマライゼーションとソーシャルインクルージョンの内容と特徴について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	相談援助の基盤と専門職B（Professional basis of social work） 古野 愛子	授業コード	E042151
学修内容				
9. 専門職倫理と倫理的ジレンマ① クライアントの置かれる状況を把握し、倫理綱領、行動規範の意義について理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	社会福祉士会における倫理綱領と行動規範の内容と特徴について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
10. 専門職倫理と倫理的ジレンマ② 具体的な倫理的ジレンマの事例を基に、倫理的ジレンマにおける倫理的判断の過程やドルゴフによる倫理原則リスト等について理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	社会福祉分野における倫理的ジレンマの具体的な例について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
11. 総合的かつ包括的な相談援助と他職種連携の意義と内容① 総合的かつ包括的な相談援助における基本的視座について、特に生活支援を中心に理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	施設支援中心から在宅支援中心へ移行した社会的背景について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
12. 総合的かつ包括的な相談援助と他職種連携の意義と内容② 予防的かつ積極的アプローチの必要性について、具体的事例を踏まえながら、理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	ウェルフェアとウェルビーイングの内容と特徴について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
13. 総合的かつ包括的な相談援助と他職種連携の意義と内容③ ネットワークによる連携と協働の実際について、具体的事例を踏まえながら、理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	ソーシャルワーク専門職におけるネットワークや連携の具体的な例について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
14. 総合的かつ包括的な相談援助を支える理論 ジェネラリスト・ソーシャルワークの意義と基本的視点について、理論的内容の理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	ジェネラリスト・ソーシャルワークにおける理論について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
15. 相談援助に係る専門職の概念と範囲 相談援助職の概念および生活支援の専門職としてのソーシャルワーカーの役割、職能団体の役割、専門職の範囲について、理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	社会福祉分野における職能団体の種類と役割について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
16. 期末試験 期末試験の詳細は第15週目にお伝えします。				
予習				
復習				